

任委員の到着を待つて待機していたところへ、産業建設常任委員である苅谷議員は、委員会を無断欠席して30名ほどの反対派住民を連れて行き、県の職員に対し激しい口調でやり取りしている事実があります。

県職員が「理解できるよう話をしたい」と言うと、苅谷議員は「理解

このような刈谷進一議員の行為は、匝瑳市政全体に対する市民の信頼を大きく損ない、市議会の名譽を大きく傷つけるもので、その責任は極めて重大であります。これらのこと踏まえると、匝瑳市議会として刈谷進一議員が今後も議員として地位を保持し続けることは容認し難いよつて、匝瑳市議会は刈谷進一議員に対し、自らの職を辞することを求めるものであります。

以上、決議していただきたいための動議であ

各動議に対する賛否一覧

動議名	議員名													大木傳一郎				
	宮内康幸	都祭広一	増田正義	椿日出男	平山政利	林明敏	山崎等	行木光一	武田光由	小川博之	石田加代	浅野勝義	栗田剛一	佐藤悟	苅谷進一	田村明美	石田勝一	大木傳一郎
阿井伸也千葉県議会議長を地方自治法第100条第7項に基づき、匝瑳市議会が告発することを求める動議	退	退	退	○	退	○	×	○	×	欠	○	○	○	○	×	×	○	議
匝瑳市議会が苅谷進一議員を地方自治法第100条第7項に基づき、告発することを求める動議	欠	欠	○	○	退	○	×	○	×	退	○	○	○	○	×	除	○	議
苅谷進一議員に議員辞職を求める勧告決議の動議	欠	欠	×	○	退	○	×	○	×	退	○	○	○	○	×	除	○	議

※「議」議長は、採決に加わるまい。

○賛成 ✗ 反対

欠付採決時 欠席

艮卦退度

徐け陰丘

反對討論

のとおりです。

市民と市職員はすごい能力を持っています。市民全体の奉仕者として改めて心に火を灯しこの決算を振り返り、次なる年に生かしてゆく、これから行政では是非やつていただきたい。

教育環境の向上

議案等に対する討論は次のとおりです

壕など戦跡の収集保存が進んでいません。

きな比重を占める市税が、前年
度より1,500万円減少した

②国連決議のSDGs持続可能な未来のために市的基本計画に盛りこまれていて「家族農業十年」「農民の権利宣言」について当市としての具体化対応がない。

③は、政治姿勢問題です、行政全体に憲法、教育基本法、給食法や市の都市宣言の具体化が弱く、法治精神が希薄です。

④女性の登用が極めて不十分です。

⑤緊急性・優先性から問題のある「パークゴルフ場」の建設強行は、今後の大きな問題として結んでいます。

⑥匝瑳市の文化歴史の遺産、資源の保存・管理・継承・展示の対策事業推進を求め、「市は推進する」と答弁しているが進みません、広報そうさで長期掲載の「匝瑳探訪」の冊子化発刊も無視されています。

針の大要と市長の所信表明を踏まえて、おおむね所期の目的に沿つて、公正公平、適正かつ効果的に執行されたものと私は考えております。

令和元年度決算は、市税の減少や合併算定替縮減率の拡大により普通交付税が減少したことなどから経常一般財源等が減少し、さらには合併特例債等の元金償還金により公債費が増加するなど経常経費が増加したため、経常収支比率は94・5パーセントと、前年度から2・8ポイントの上昇となりました。

しかしながら、実質収支額は、6億4、500万円の黒字を堅持し

住宅リフォーム補助事業による住宅環境の向上など、新たな事業にも積極果敢に取り組まれており、太田市長が市政運営に掲げた「一つ上のまちづくり」が、着実に進められております。

以上のことから、私は議案第1号令和元年度匝瑳市一般会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり認定すべきと考え、賛成の立場からの討論を終わります。

(要旨) は、次のとおりです

(7) 匝瑳の民衆の歴史 「匝瑳市の自由民権運動」「福善寺を拠点として鬪われた眞忠組の世直し運動」などの取り組み。

(8) 匝瑳市は植木の街、市の遺産として「匝瑳市の大木・銘木選定」事業も不発でした。

(9) 平和遺産である各地域にのこる掩体壕、地下

また、財政の健全化を客観的に示す健全化判断比率は、国の基準を大きく下回るなど、堅実な財政運営がなされたものと評価するものであります。

反対討論